

沖縄高専人第40号
令和7年12月17日

関係機関の長 殿

沖縄工業高等専門学校長
鈴木 康 司
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本校では下記のとおり教員公募を行うことになりました。

つきましては、貴機関関係者へご周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- | | |
|------------|---|
| 1. 職名及び人員 | 助教 1名 |
| 2. 所 属 学 科 | 基盤教育科 |
| 3. 専 門 分 野 | 数学 |
| 4. 主な担当科目 | 本科及び専攻科の数学に関する科目及び研究に関する以下の科目の中からいくつかを担当いただきます。 |

本科開設科目の「基礎数学Ⅰ」、「基礎数学Ⅱ」、「微積分Ⅰ」、「微積分Ⅱ」、「線形代数」、「応用数学」、「確率・統計」及び専攻科開設科目の「数学通論」

- | | |
|----------|--|
| 5. 採用予定日 | 令和8年4月1日以降の早い時期 |
| 6. 任 期 | なし |
| 7. 応募資格 | 高等専門学校設置基準の教員の資格に拠るほか、次の各項を全て満たす方
(1) 修士もしくは博士の学位を有する方（採用までに学位取得見込みを含む）、またはこれと同等以上の研究能力を有する方
(2) 自身の研究分野を持ち、外部資金獲得に意欲的な方で、社会実装あるいは社会貢献を見据えた研究、文理融合分野の研究に意欲的な方
(3) 高等学校・高等専門学校・短期大学・大学での数学科目の教育経験を有していることが望ましい
(4) 日本語を母語としない場合には、本校での業務遂行に支障のない日本語運用力を有する方 |

- (5) 本校での教育（学級担任や寮生活指導、課外活動指導等の学生指導を含む）、研究、地域貢献（公開講座、出前授業等）、国際交流、産官学連携活動に情熱を持って取り組める方
- (6) 本校の基本方針（沖縄工業高等専門学校ホームページを参照のこと）に基づき、学校運営に情熱を持って取り組める方

※ 沖縄工業高等専門学校は男女共同参画を推進しており、業績（教育業績、研究業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。

8. 提出書類

- (1) 履歴書（様式1）※
- (2) 教育研究業績一覧（様式2）※
- (3) 主要論文・特許等（3件以内）の別刷（コピー可）
- (4) 推薦書（応募者を評価できる方の推薦書、自薦の際は省略可）
- (5) 高等専門学校における教育、研究及び学生指導に対する抱負（2,000字以内）
- (6) 問い合わせ可能な方の連絡先2件

※様式1及び2は、沖縄工業高等専門学校ホームページ（<https://www.okinawa-ct.ac.jp/about/1673311023/>）からダウンロードすることが出来ます。

9. 応募締切

令和8年1月30日（金）午後5時必着

10. 選考方法

第一次選考：書類審査

第二次選考：面接、模擬授業（宿泊交通費等は自己負担）

※第二次選考は、第一次選考合格者を対象に令和8年2月中に実施予定です。

※模擬授業のテーマについては対象者に個別連絡します。

11. 応募書類提出先

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905 番地

沖縄工業高等専門学校総務課人事係

※封筒に「基盤教育科教員応募書類在中」と朱記し、書留にて郵送のこと。なお、応募書類は原則として返却いたしません。返却を希望される場合は、返信用封筒を同封してください。

12. 問い合わせ先

基盤教育科長 山田 親稔

TEL : 0980-55-4149

cyamada@okinawa-ct.ac.jp

13. 本校 URL

<https://www.okinawa-ct.ac.jp/>

(参考資料)

沖縄工業高等専門学校 基盤教育科の教員が携わる授業以外の職務の概要

沖縄工業高等専門学校 基盤教育科長

平成16年4月より、全国の国立高等専門学校は法人化され、独立行政法人国立高等専門学校機構として再編されました。沖縄工業高等専門学校（以下、「本校」という。）も、その一組織となっています。本校は、本科（5年間）と専攻科（2年間）を設置しています。高等専門学校（以下、「高専」という。）は、その教育目標、および、本科生（およそ15歳～20歳）から専攻科生（およそ20歳～22歳）に至る学生の幅広い年齢層から、大学や高等学校とは本質的に異なる特徴を持っています。そのため、高専の教員は、教育・研究活動に加え、学校運営、さらには学生の生活指導など、多岐にわたる業務を担う必要があります。

高専の教育課程は、一般科目と専門科目で構成されています。本校の基盤教育科は、主に一般科目を担当する教員が集まる組織です。教員公募への応募を検討されている皆様に、基盤教育科の教員の授業（座学のほか、実験、実習、実技等を含む）以外の職務について認識を深めていただくため、以下に主な職務のうちのいくつかについて、その概要を記します。

1. 学級担任

本校の教員の職務のうち、授業担当以外で、学生との距離が最も近いものが学級担任の業務です。学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導を行います。例えば、毎朝のショートホームルーム、教室等の清掃指導、週に一度のロングホームルーム、体育大会や高専祭など各種行事での学生指導、学生の個人面談や保護者との懇談、面談、学内の関連部署（学生委員会、学生寮委員会、教務委員会、学生相談・支援室など）との連携など、学級担任の業務は多岐に渡ります。

基盤教育科の教員は、低学年（本科1,2年生、計8学級）の学級担任、および、副担任を担当します。低学年の学生は、年齢でいえば（大学生ではなく）高等学校の生徒に近いので、学級を安心・安全な学びやすい雰囲気には保ち、学生一人一人に寄り添いサポートする学級担任の役割が重要となります。

2. 学校運営のための各種委員会

本校には、教務委員会、学生委員会、学生寮委員会をはじめ、各種の委員会があり、教員は委員として学校運営に参加します。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。すべての教員は何らかの委員会に所属し、委員会の業務を分担して行います。例えば、学生寮委員は寮内の巡回、寮生の日常生活の指導、寮での各種行事・寮生会所属の学生の委員会活動の指導などの職務があります。

3. 研究

高専の教員には、その教育内容を学術の進展に即応させるため、研究に対する意欲的な姿勢、および、その成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されています。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による認証評価を7年以内ごとに受けることになっています。

4. クラブ顧問

ほぼすべての教員が、クラブ顧問としての日常的な課外活動指導をはじめ、各種コンテストまたは高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などを行っています。